

ドイツエトリンゲンピアノコンクール2位 ピティナ・コンペティショングランプリ受賞

今年8月、ドイツのコンクールと国内のコンペティションでそれぞれ2位、グランプリと立て続けに快挙を成し遂げた高校1年生の若手ピアニスト田村響さん。「受賞は、もちろんうれしかったです。でも、そこにいたるまでに、とても充実した時間を過ごせたことや、海外の大舞台で演奏するという貴重な体験ができたことが僕にとっては大きかったです」と振り返ります。

6歳から本格的に学び始めたピアノ。明和高校に通う現在も勉強との両立の中で、毎日4時間の練習を心がけています。「ちょうど学校のテストが終わり、ほっとしているところです」と普通の高校生としての一面を見せる一方で、「微かなニュアンスまで語り合うために、やっぱり英語は勉強しなければ」と海外経験で痛感したそうです。



「今後はもっともっと完成度を高めていきたい。その中でいろいろな人と出会い、新たな発見をしていきたいんです」と語る田村さん。すでに、日本フィルとの競演が決まるなど、活躍の場はますます広がっています。今回の相次ぐ栄光も、彼にとってはこれから永く続くピアニスト人生の、一つの通過点に過ぎなかったようです。

★輝いています

● 田村 響さん（篠目町）



「賞は、これからもっともっと成長していかなければならない自分への“応援”としてもらえたと思っています」

野草歳時記

140



オグルマ

〔小車 キク科〕



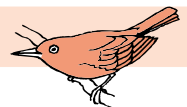
川岸や田などの少し湿ったところに生え、花はまわりの舌状花が切れ味のよいはさみで切り落としたように、きれいにそろっているのが特徴です。オグルマの名もそこからきています。

漢方では「土木香」といい、根を乾燥したものを健胃剤や利尿剤の原料にしています。中国では、せんじた汁が切り傷に効果があるといい、ドイツでは若葉をスープに入れて食べます。

写真・文／三井亨氏＜城ヶ入町・安城市文化財保護委員＞

安城の野鳥

163



ハトくらいの大きさで、キジの雌によく似た色彩をしています。足指が長く、水草の上を歩くのに適しています。市内では赤松町の半場川の小さな葦原で一度観察されているだけの、とても珍しい鳥です。しかし、農耕地が多い市内では、稲刈り前の田んぼのあぜにひょっこり出てきそうな気がして、この時期にはいつも

探しているのですが……。

写真・文／杉山時雄氏

＜桜井町・西三河野鳥の会 会員＞



ツルクイナ

—クイナ科—